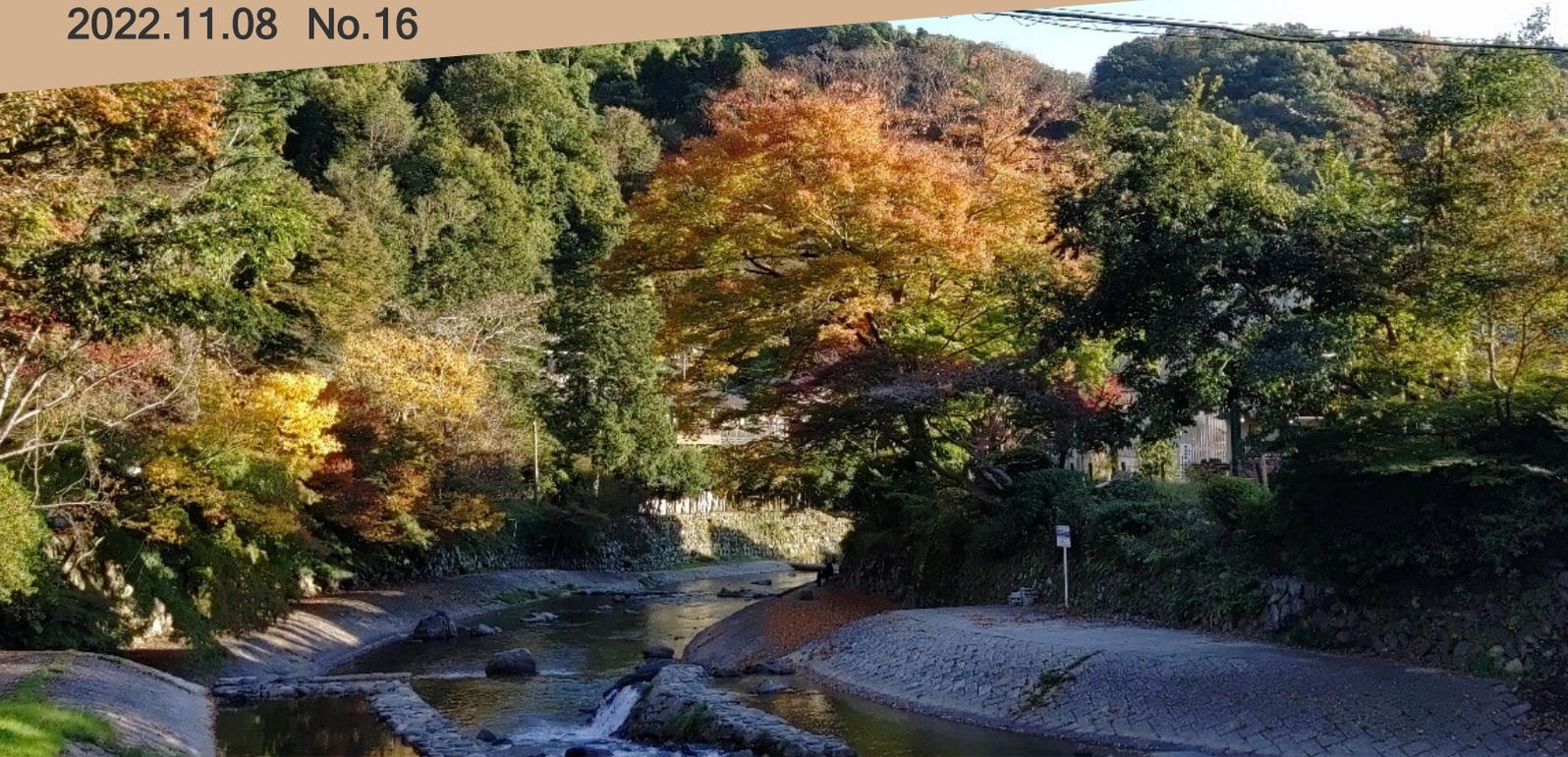


武庫川臨床教育学会 ニュースレター

2022.11.08 No.16



第9期新体制が決まりました

役員選挙が行われ8月に選挙管理委員会（今井美樹選挙管理委員長）から開票結果が報告されました。以下の10名の方が選出されました。投票率は37.4%でした。

岩崎 久志 上田 孝俊 木田 重果 小谷 正登 田崎 由子 中村 又一 長谷 範子 吉岡 眞知子
吉益 敏文 渡邊 由之 (五十音順、敬称略)

第9期第1回理事会・事務局会議において次のような体制が決定されました。

会長 渡邊 由之
副会長 中村 又一
事務局長 吉益 敏文 ※会長・副会長・事務局長を3役とする。
筆頭理事 木田 重果 ※理事代表、必要に応じて3役会議に加わる。
会計監査 岩崎 久志 小谷 正登

事務局 事務局長 吉益 敏文
事務局次長 二羽 礼 財政担当 高橋 孝子 事務局員 春木 美治

編集委員会 編集長 木田 重果
編集委員 田崎 由子 長谷 範子 二羽 礼 村越 直子 安井 勝

武庫川臨床教育学会
<http://mukogawarinkyo.com/>

〒663-8558
兵庫県西宮市池開町 6-46
武庫川女子大学教育研究所内

電話番号:075-922-7749 (吉益自宅)
メール: mukogawarinkyo@yahoo.co.jp

小さな学習会の継続を

第1回理事会・事務局会議の討議において、大会までに小さな学習会を実施することが決まりました。従来の3グループの学習会の発展形として実施します。年間計画としては、12月、3月、6月、9月のいずれも第1土曜日に開催することにしました。第1回目の内容は下記の通りです。多くの方の参加をお待ちしております。

○ テーマ：当事者の声を聴きとり、当事者の一人として考える－臨床教育学の思想・方法を耕す－

○ 提起：渡邊 由之 会長（日本臨床教育学会理事・事務局長）

○ 日時：2022年12月3日（土）13時～14時30分（zoomによる開催）

○ Zoom アクセス情報：

<https://us02web.zoom.us/j/85711181033?pwd=VUkxRHRzMVFIYWpVNnBoKzEvWitKUT09>

ミーティング ID: 857 1118 1033

パスコード: 379105

（Zoom アクセスは、後日メールでもお送りします）



武庫川臨床教育学会 第17回研究大会について

第17回研究大会は、2023年2月26日（日）に武庫川女子大学教育研究所にて開催予定です。どうかご参加くださいますようお願いいたします。詳細が決まり次第、ニュースレターやホームページにて公表いたします。

今後、修了生による学会運営が主軸となるように思います。そのため、臨床教育学研究科の修了生を母体とするこの学会の方向性を確かめながら、この第17回研究大会を計画・実施してまいります。

機関誌『臨床教育学論集』について

『臨床教育学論集』第14号は12月末の発行を予定しています。特集1は「コロナ禍の今と臨床教育学」、特集2は第16回研究大会を特集します。次号への投稿論文も募集中です。

なお、次々号（第16号）の投稿論文については、郵送先が変更される可能性があります。その場合は、メールやニュースレターでお知らせいたしますので、今後の連絡にご注意ください。



【実施報告】石井邦也さんを偲ぶ会



7月9日（土）武庫川女子大学において「石井邦也さんの活動から武庫川臨床教育学会が継承すること」という学習会を開催しました。オンラインの方も含め約20名の参加でした。

春木美治会員からは2006年から始まった自主ゼミ活動の報告、そこでの石井さんの言葉やレジメなどから印象に残った事が具体的に語られました。これからも自主ゼミの活動を続けていくことも静かな決意として語られ報告をおえられました。

次に上田会長（7月当時）から「石井邦也さんと臨床教育学」と題して、人を理解することの難しさ、おもしろさに挑戦するという内容で、臨床教育学論集に掲載されている石井さんの研究ノートの論文の要旨と石井さんの実践の留意点について語られました。2点目に東日本大震災被災地での教育実践から学ばなければ

ばならないこととして、上田会長が石井さんと東日本大震災被災地現場に調査にいかれた時のエピソードなどを語られました。

3つ目の報告は、大阪聖和教会の老田信牧師から、「子どもの居場所 Yu-Ya」での石井さんの活動の様子、子どもたちの関わりが具体的に語られました。石井さんの病が発覚してからの様子、キリスト者としての生き方についてもふれられました。3名の方の報告はどれも心に染み入る報告でした。

参加者で意見交流をして、そのあと「自主ゼミ」の模擬体験として、鶴見俊輔の『教育再定義への試み』の学習をしました。この日の学習会の内容や石井さんを偲ぶエピソードを上田会長と春木会員が中心になって今後まとめられ冊子にされる予定です。

【実施報告】花園大学フィールドワーク

7月18日（月）、約10名の参加で花園大学フィールドワークを実施しました。

はじめに長谷理事から「大学における学生支援と教職員の学生理解」というテーマで問題提起がされました。具体的な学生支援としての合理的配慮の問題、その上で大学とは何なのか、援助の視点はどこなのかが論議になりました。「面倒見のよい大学」というフレーズと、実際の学生援助のあり方や学生の発達など多角的な論議が展開されました。フィールドワークをかねた研究会として一つの方向を示すことができました。長谷理事を中心とした花園大学の関係者の方に感謝いたします。

会計報告（次頁参照）

2021年度の会計収支決算報告書と会計監査結果を次頁に提示いたします。ご確認くださいませようお願いします。

会長就任にあたって－自己紹介に代えて－

第9期会長という役を担わせていただく渡邊由之と申します。今は、東大阪大学で教育・研究をしております。専門は臨床教育学・教育実践論です。まだ全会員の顔と名前を把握できていないのですが、武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科の修了生として、皆様のお役に立てるよう努めます。なお、臨床教育学研究科に所属する教員が会長を務めてきた体制が、今期をもって変わりました。これからは修了生による学会運営となります。上田孝俊前会長は、事務局長としても会長としても会を引っ張ってくださり、今期も理事を担ってくださいませ。また、小林剛先生、田中孝彦先生、福井雅英先生といった先達を前にして、私に何ができるのだろうかと不安だらけですが、皆さんもまた不安でしょう。そのため、まずは皆さんと語り合いたいと思っています。学習会などで声を聞かせてください。よろしく申し上げます。

編集後記

第9期の体制が確立しました。そこで論議されたことは「小さな学会だが日常的な学習会を是非定例化したい」ということでした。日本臨床教育学会第12回研究大会でも語られていたことですが、年1回の大会を充実したものにするには大前提ですが、会員相互の日常的なつながりやかかわりをいかに密にしていくか、学会の存在感をどう増していくかは小さな研究会の積み重ねが大事なのではないかということです。そういう意味で7月の2つの研究会は参加された方からも好評でした。第9期もさらに充実させていきたいと考えています。先日、三役で武庫川女子大学を訪問し、河合優年教育研究所長と面会をしてきました。修了生が武庫川で集まることの意義を、皆様とともに考えていきますので、今後とも宜しく申し上げます。〈文責 吉益〉

武庫川臨床教育学会 2021年度 会計 収支決算報告書
 (報告期間 2021年4月1日～2022年3月31日)

収入の部

単位 円

費目		予算額	決算額	摘要
会費	年会費	242,000	257,000	3,000×59 2,000×40
	入会金	10,000	10,000	2,000×5
小計		252,000	267,000	
雑収入		3,000	6,005	大会参加費2,000 寄付4,000 利子5
繰越金		445,000	537,448	
収入合計		700,000	810,453	

支出の部

単位 円

費目		予算額	決算額	摘要
運営費	通信運搬費	90,000	65,029	ZOOM料金22,110 ニュースレターなど送料
	需用費	140,000	47,441	封筒、文具、理事会及び編集委員会交通費
小計		230,000	112,470	
事業費	大会運営費	80,000	39,020	研究大会施設使用実費(光熱水費) 講師謝礼金
	研究費	340,000	175,900	臨床教育学論集 第13号 130冊 グループ研究費1,000
小計		420,000	214,920	
予備費		50,000	0	
支出合計		700,000	327,390	

収支決算の部

収入総額	810,453円
支出総額	327,390円
差引残高	483,063円

上記の通り、ご報告いたします

2022年3月31日

会計

高橋 孝子

監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告します

監査 小谷正登 

監査 岩崎久志 